

柏の景気情報（平成19年4月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
T E L : 04-7162-3305
F A X : 04-7162-3323
U R L : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成19年4月分）

○ 調査期間 : 平成19年4月16日 ~ 4月19日

○ 調査対象 : 柏市内99事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	99	70	70.7%
建設	17	16	94.1%
製造	23	17	73.9%
卸・小売	40	27	67.5%
サービス	19	10	52.6%

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景況の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成19年4月の調査結果のポイント】

◀ 業況DIは2カ月連続でマイナス幅が縮小、建設業大幅に改善 ▶

○4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲15.7(前月水準▲22.8)となり、マイナス幅が△7.1ポイント縮小した。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小した業種は、サービス業±0.0(同△9.0)である。マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲6.2(同▲38.4)、卸小売業▲33.3(同▲37.9)である。特に、建設業はマイナス幅が△32.2ポイントと大幅に縮小した。変らない業種は、製造業▲5.8(同▲5.8)である。

【建設業】では、「官庁関係が動いてきているが、仕入単価が上昇しており、受注に結びつけるための知恵が必要」(土木建築)、「新年度発注物件(官公庁)が出始めたが、単価が厳しい」(土木建築)、「公共工事の新年度ものが少なく、受注できない状況」(土木建築)など公共工事の件数や単価に関する厳しい声が多く寄せられた。その他、「仕事の方は忙しいが、純利益が少なくなつて大変な時期」(板金工事)との声や、「過当競争が続き、憂慮すべき事態に陥っている」(電気工事)といった業界ごとの不安の声も寄せられている。

【製造業】では、「業界全体では103%で着地した見込み」(清涼飲料製造)、「国内に比べ、海外、特に米国・ヨーロッパが好調」(電子部品・デバイス製造)との好調な声の一方、「主力事業は好調だが、暖冬によりカイロ事業が不調」(鉄粉製造)との声の他、「ステンレス材の値上がりが急ピッチである」(機械・同部分品製造)、「受注は増えているが、原材料の上昇などにより利益に結びつかない」(工業用ゴム製品製造)といった仕入上昇に関する声や、「新規引合先には値上げを反映した価格で折衝中であるが、なかなか通らない」(機械・同部分品製造)といった値上げに関する厳しいコメントが寄せられている。

【卸小売業】では、「全体的に業績好調で仕事の引き合いがある」(食料品小売)、「売上は灯油が多少増加した」(燃料小売)と、一部で明るい声も寄せられているものの、「天候が不安定な事もあって業績は今一」(食料卸売)、「雨がからむ日が多く、雨の影響が大きい店としては厳しい状況」(商品小売)、「近在野菜も低温で伸び悩みがあり、消費動向に期待したい」(食料卸売)、「天候不順(気温の低下等)の影響もあり、客数・売上ともに低調である」(商品小売)、「陽気が安定せず、軽衣料が買い控えられている」(商品小売)といった天候不順に関するコメントが多く寄せられた。また、「原油価格の高騰で大幅な値上げの見込」(燃料小売)といった原油高騰による値上げのコメントや、「人の確保も難しくなっている」(商品小売、食料品小売)といった人材不足に関する声も寄せられている。その他、「食品関係が余り売れていない」(食料卸売・商品小売)、「野菜の入荷は増加傾向で単価は安値が多く、果実については品薄感から入荷減少し、単価は高値で推移すると思われる」(食料卸売)との声や、「流山おたかの森ショッピングセンターの関係で飲食、コンビニ等の閉店もある」(食料品小売)、「同業者のつぶしあいの中で、いかに生き残るか模索中」(書籍小売)といった相次ぐ大型店出店による競争激化の声も寄せられた。

【サービス業】では、「お花見シーズンは土日のランチタイムが忙しかった」(レストラン)、「長期宿泊あり」(ホテル)といった好調の声の一方、「会議・展示会減少」(ホテル)との声や、「飲酒の取り締まりが厳しくなり、お酒を頼まれるお客様が少なくなってきた」(レストラン)といった飲酒運転取締りの影響に関するコメントが寄せられた。

◎天候の影響

「暖冬によりカイロ事業が不調」(鉄粉製造)といった声の他、「天候が不安定な事もあって業績は今一」(食料卸売)、「雨がからむ日が多く、雨の影響が大きい店としては厳しい状況」(商品小売)、「近在野菜も低温で伸び悩みがあり、消費動向に期待したい」(食料卸売)、「2週目までは良かったが、後半に入り、天候不順(気温の低下等)の影響もあり、客数・売上ともに低調である」(商品小売)、「暖冬ではあるが、寒波の戻りと元売の減産政策の影響で安価なスポット物がなくなり、後半にかけて値上がりしている」(燃料小売)、「陽気が安定せず、軽衣料が買い控えられている」(商品小売)、「月初より天候不順及び、ファミリー層を中心とした顧客が競合に流出した影響から、春休み期間中は売上・入店客数共に低調な出足となった。春休み明けもリニューアルで営業面積が減していることから、昨年を下回る推移となり、中旬以降も天候が安定せず、苦戦が続いている」(商品小売)といった春先の天候不順に関する声が小売業を中心に多く寄せられた。

◎値上げ

「原油価格の高騰で大幅な値上げの見込」(燃料小売)といった声や、「ステンレス材の値上がりが急ピッチである。新規引合先には値上げを反映した価格で折衝中であるが、なかなか通らない」(機械・同部分品製造)、「灯油の時期は終わりに近づいているものの、値上げ話を無視できず、いつまでたっても苦労から抜け出せない」(燃料小売)といった仕入上昇しているが、価格転嫁できないといった声も寄せられている。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
11月	▲12.3	▲26.6	△17.6	▲24.1	▲8.3
12月	▲14.6	▲37.5	△16.6	▲20.6	▲16.6
1月	▲15.2	▲15.3	▲22.2	▲13.7	▲8.3
2月	▲25.7	▲20.0	▲22.2	▲38.4	▲9.0
3月	▲22.8	▲38.4	▲5.8	▲37.9	△9.0
4月	▲15.7	▲6.2	▲5.8	▲33.3	±0.0
見通し	▲12.8	▲18.7	△5.8	▲22.2	▲10.0

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 12.8	△ 2.8	▲ 20.0	▲ 5.7	▲ 40.0	▲ 28.5	△ 15.7	△ 20.0
建設	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 31.2	▲ 31.2	▲ 68.7	▲ 50.0	△ 12.5	△ 6.2
製造	▲ 11.7	△ 29.4	▲ 17.6	△ 23.5	▲ 41.1	▲ 17.6	△ 11.7	△ 17.6
卸・小売	▲ 25.9	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 14.8	▲ 33.3	▲ 29.6	△ 7.4	△ 18.5
サービス	△ 30.0	△ 20.0	△ 30.0	△ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	△ 50.0	△ 50.0

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 15.7	▲ 12.8	▲ 5.7	▲ 7.1
建設	▲ 6.2	▲ 18.7	△ 6.2	±0.0
製造	▲ 5.8	△ 5.8	▲ 5.8	▲ 5.8
卸・小売	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 14.8	▲ 14.8
サービス	±0.0	▲ 10.0	±0.0	±0.0

【平成19年4月の業況についての状況】

○ 4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲15.7(前月水準▲22.8)となり、マイナス幅が△7.1ポイント縮小した。

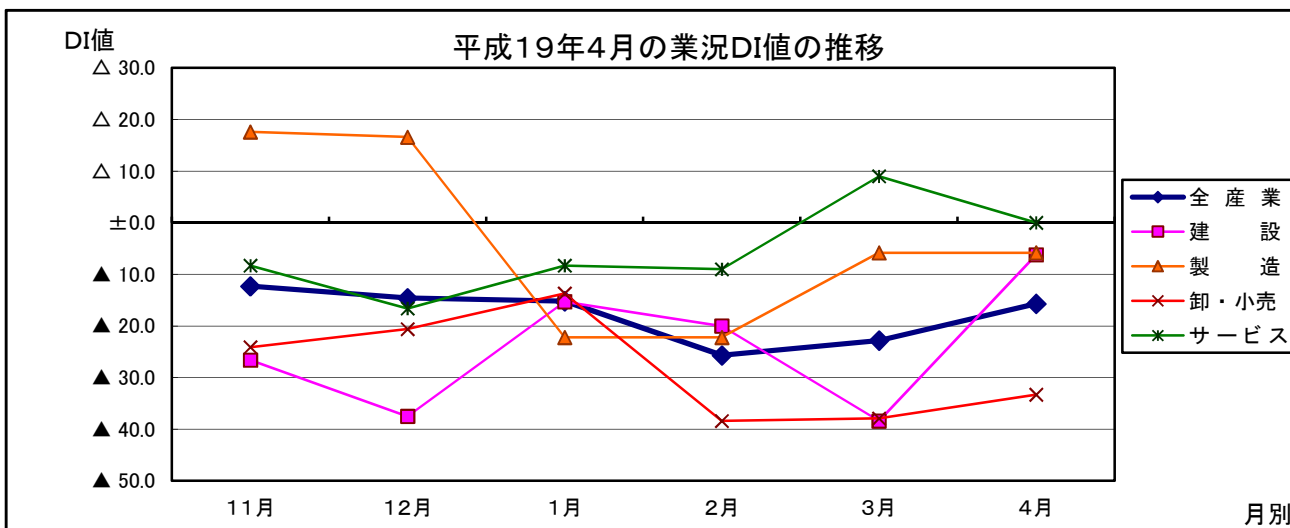
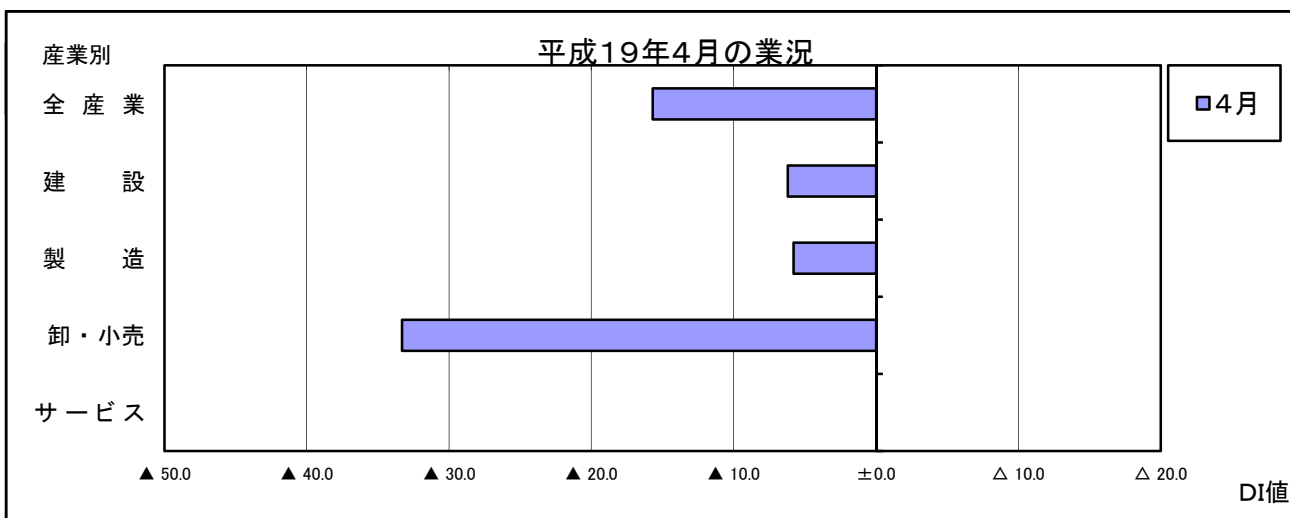
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小した業種は、サービス業±0.0(同△9.0)である。マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲6.2(同▲38.4)、卸小売業▲33.3(同▲37.9)である。特に、建設業はマイナス幅が△32.2ポイントと大幅に縮小した。変らない業種は、製造業▲5.8(同▲5.8)である。

○ 向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、▲12.8(前月水準▲17.1)となり、マイナス幅が△4.3ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△5.8(同±0.0)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲18.7(同▲38.4)、卸小売業▲22.2(同▲24.1)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業▲10.0(同±0.0)である。

平成19年4月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 11月	平成18年 12月	平成19年 1月	平成19年 2月	平成19年 3月	平成19年 4月	先行き見通し 5月~7月(4月~6月)
全産業	▲12.3	▲14.6	▲15.2	▲25.7	▲22.8	▲15.7	▲12.8(▲17.1)
建設	▲26.6	▲37.5	▲15.3	▲20.0	▲38.4	▲6.2	▲18.7(▲38.4)
製造	△17.6	△16.6	▲22.2	▲22.2	▲5.8	▲5.8	△5.8(±0.0)
卸・小売	▲24.1	▲20.6	▲13.7	▲38.4	▲37.9	▲33.3	▲22.2(▲24.1)
サービス	▲8.3	▲16.6	▲8.3	▲9.0	△9.0	±0.0	▲10.0(±0.0)



【平成19年4月の売上についての状況】

○ 4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲12.8(前月水準▲7.1)となり、マイナス幅が▲5.7ポイント拡大した。

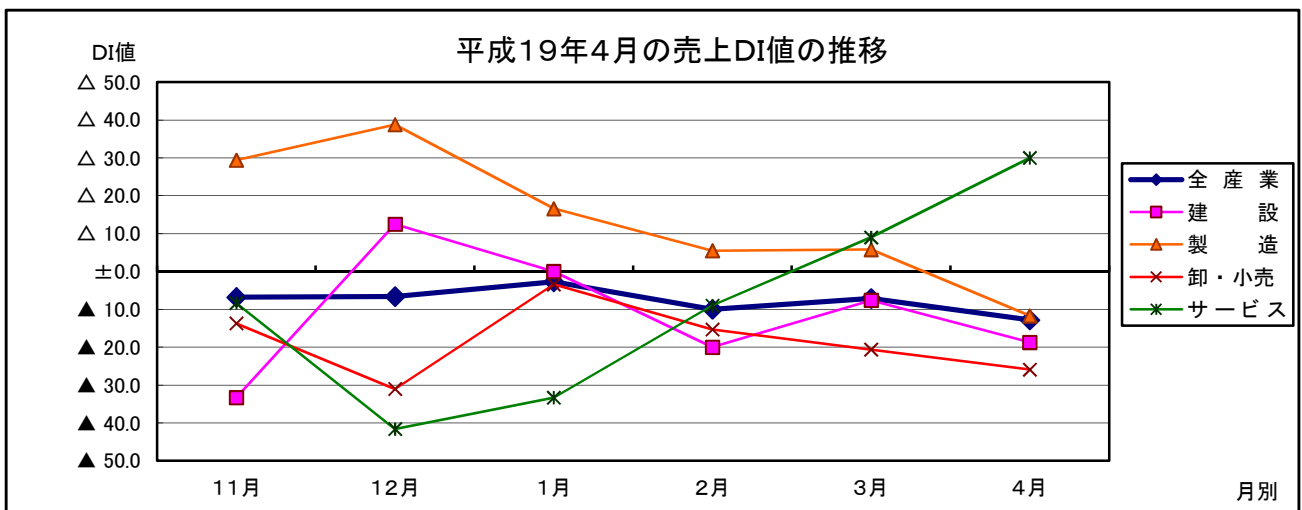
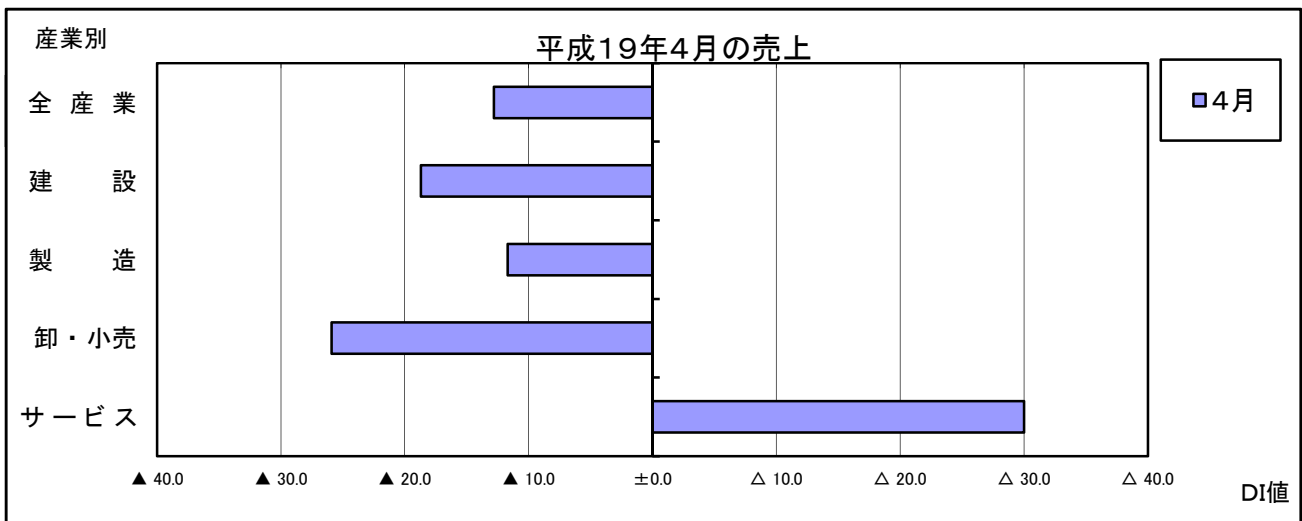
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、サービス業△30.0(同△9.0)であり、プラス幅が△21.0ポイントと大幅に拡大した。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲11.7(同△5.8)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲18.7(同▲7.6)、卸小売業▲25.9(同▲20.6)である。

○ 向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、△2.8(前月水準▲2.8)となり、プラス幅が△5.6ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業△29.4(同△35.2)である。マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、サービス業△20.0(同▲9.0)であり、△29.0ポイントと大幅に改善する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲12.5(同▲30.7)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲11.1(同▲10.3)である。

平成19年4月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 11月	12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5月~7月(4月~6月)
全産業	▲ 6.8	▲ 6.6	▲ 2.7	▲ 10.0	▲ 7.1	▲ 12.8	△ 2.8 (▲ 2.8)
建設	▲ 33.3	△ 12.5	±0.0	▲ 20.0	▲ 7.6	▲ 18.7	▲ 12.5 (▲ 30.7)
製造	△ 29.4	△ 38.8	△ 16.6	△ 5.5	△ 5.8	▲ 11.7	△ 29.4 (△ 35.2)
卸・小売	▲ 13.7	▲ 31.0	▲ 3.4	▲ 15.3	▲ 20.6	▲ 25.9	▲ 11.1 (▲ 10.3)
サービス	▲ 8.3	▲ 41.6	▲ 33.3	▲ 9.0	△ 9.0	△ 30.0	△ 20.0 (▲ 9.0)



【平成19年4月の採算についての状況】

○ 4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.0(前月水準▲15.7)となり、マイナス幅が▲4.3ポイント拡大した。

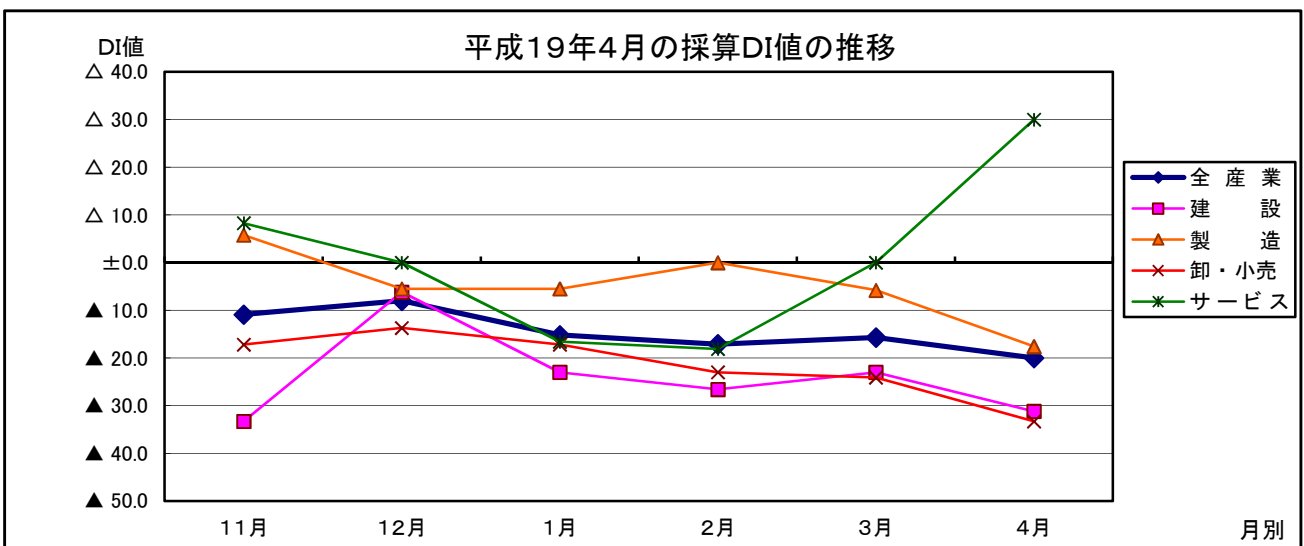
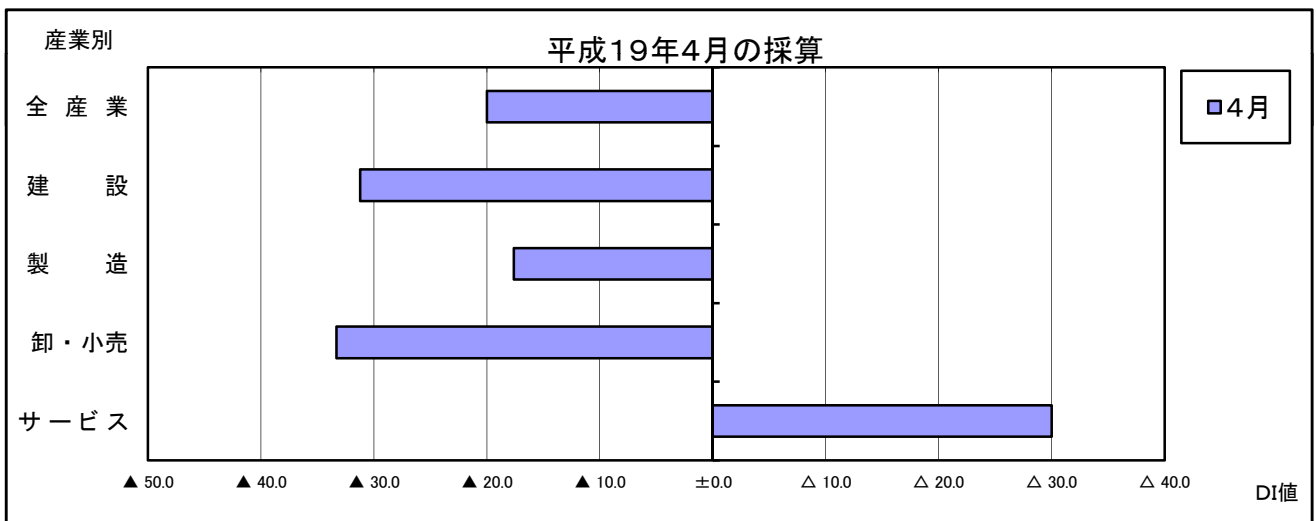
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、サービス業△30.0(同±0.0)であり、プラス幅が△30.0ポイントと大幅に拡大した。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲17.6(同▲5.8)、卸小売業▲33.3(同▲24.1)、建設業▲31.2(同▲23.0)である。

○ 向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、▲5.7(前月水準▲10.0)となり、マイナス幅が△4.3ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△23.5(同±0.0)であり、プラス幅が△23.5ポイントと大幅に拡大する見通しである。マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、サービス業△10.0(同▲9.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲14.8(同▲6.8)、建設業▲31.2(同▲30.7)である。

平成19年4月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 11月	12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5月～7月(4月～6月)
全産業	▲10.9	▲8.0	▲15.2	▲17.1	▲15.7	▲20.0	▲5.7(▲10.0)
建設	▲33.3	▲6.2	▲23.0	▲26.6	▲23.0	▲31.2	▲31.2(▲30.7)
製造	△5.8	▲5.5	▲5.5	±0.0	▲5.8	▲17.6	△23.5(±0.0)
卸・小売	▲17.2	▲13.7	▲17.2	▲23.0	▲24.1	▲33.3	▲14.8(▲6.8)
サービス	△8.3	±0.0	▲16.6	▲18.1	±0.0	△30.0	△10.0(▲9.0)



【平成19年4月の仕入単価についての状況】

○ 4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲40.0(前月水準▲37.1)となり、マイナス幅が▲2.9ポイント拡大した。

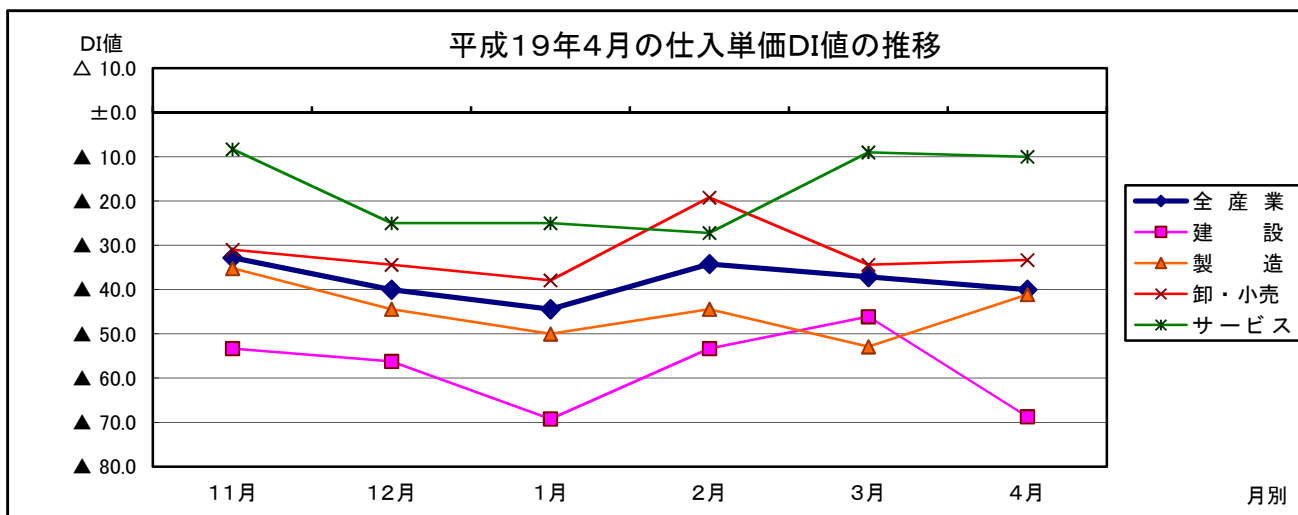
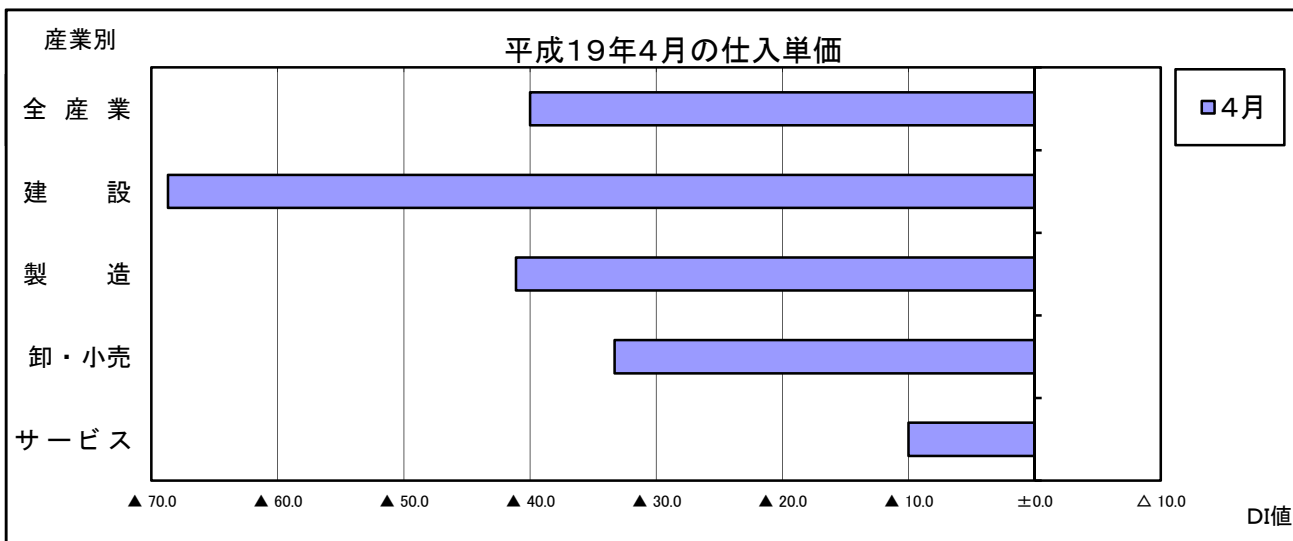
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業▲41.1(同▲52.9)、卸小売業▲33.3(同▲34.4)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲68.7(同▲46.1)、サービス業▲10.0(同▲9.0)である。特に、建設業はマイナス幅が▲22.6ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、▲28.5(前月水準▲30.0)となり、マイナス幅が△1.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲17.6(同▲35.2)、卸小売業▲29.6(同▲37.9)、サービス業▲10.0(同▲18.1)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、建設業▲50.0(同▲15.3)であり、マイナス幅が▲34.7ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成19年4月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 11月	12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5月~7月(4月~6月)
全産業	▲32.8	▲40.0	▲44.4	▲34.2	▲37.1	▲40.0	▲28.5(▲30.0)
建設	▲53.3	▲56.2	▲69.2	▲53.3	▲46.1	▲68.7	▲50.0(▲15.3)
製造	▲35.2	▲44.4	▲50.0	▲44.4	▲52.9	▲41.1	▲17.6(▲35.2)
卸・小売	▲31.0	▲34.4	▲37.9	▲19.2	▲34.4	▲33.3	▲29.6(▲37.9)
サービス	▲8.3	▲25.0	▲25.0	▲27.2	▲9.0	▲10.0	▲10.0(▲18.1)



【平成19年4月の従業員についての状況】

○ 4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△15.7(前月水準△18.5)となり、プラス幅が▲2.8ポイント縮小した。

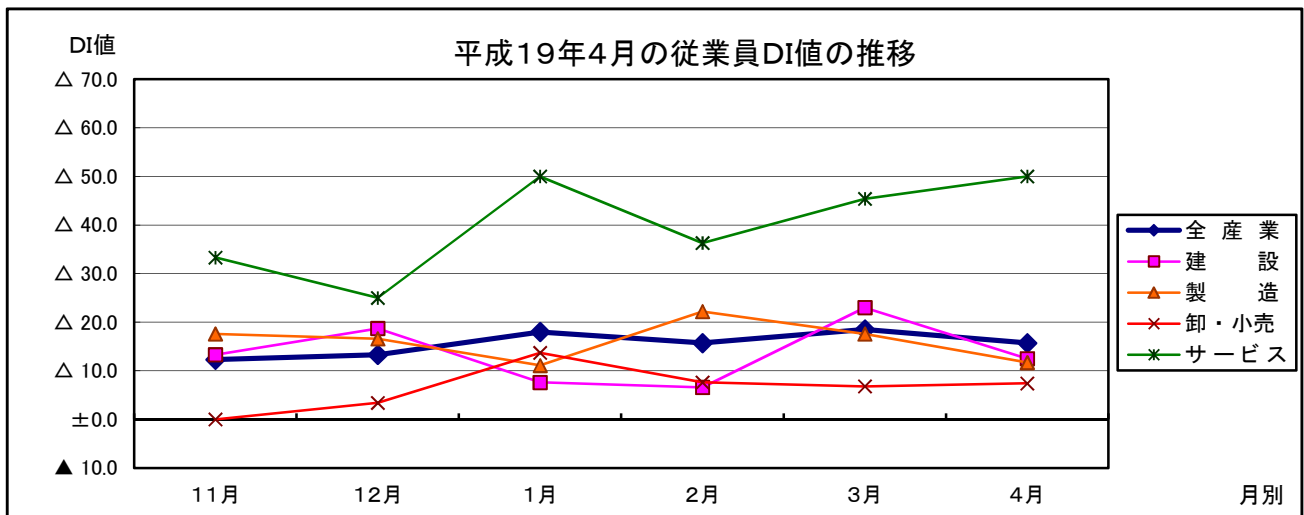
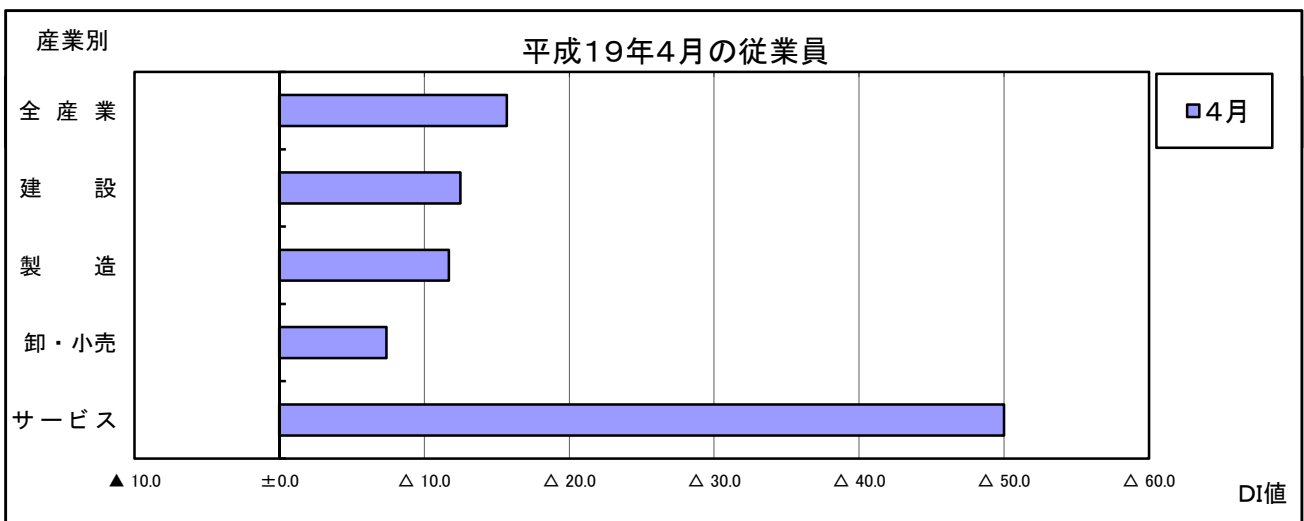
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業△50.0(同△45.4)、卸小売業△7.4(同△6.8)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業△12.5(同△23.0)、製造業△11.7(同△17.6)である。

○ 向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、△20.0(前月水準△14.2)となり、プラス幅が△5.8ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業△17.6(同△5.8)、卸小売業△18.5(同△10.3)、サービス業△50.0(同△45.4)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業△6.2(同△7.6)である。

平成19年4月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 11月	12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5月~7月(4月~6月)
全産業	△12.3	△13.3	△18.0	△15.7	△18.5	△15.7	△20.0(△14.2)
建設	△13.3	△18.7	△7.6	△6.6	△23.0	△12.5	△6.2(△7.6)
製造	△17.6	△16.6	△11.1	△22.2	△17.6	△11.7	△17.6(△5.8)
卸・小売	±0.0	△3.4	△13.7	△7.6	△6.8	△7.4	△18.5(△10.3)
サービス	△33.3	△25.0	△50.0	△36.3	△45.4	△50.0	△50.0(△45.4)



【平成19年4月の資金繰りについての状況】

○ 4月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲5.7(前月水準▲12.8)となり、マイナス幅が△7.1ポイント縮小した。

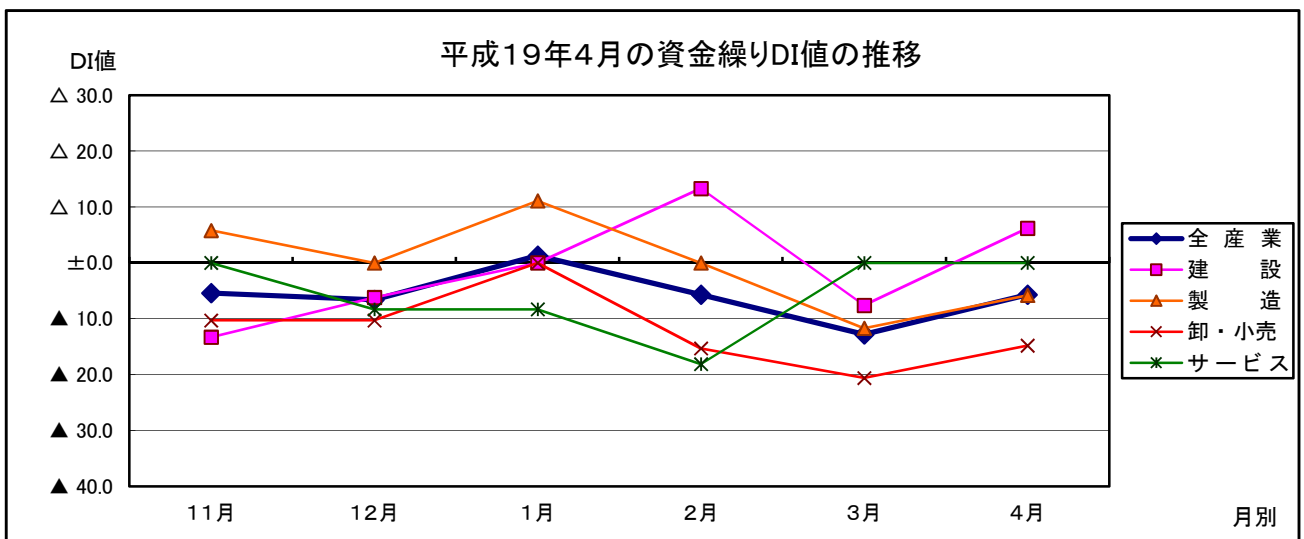
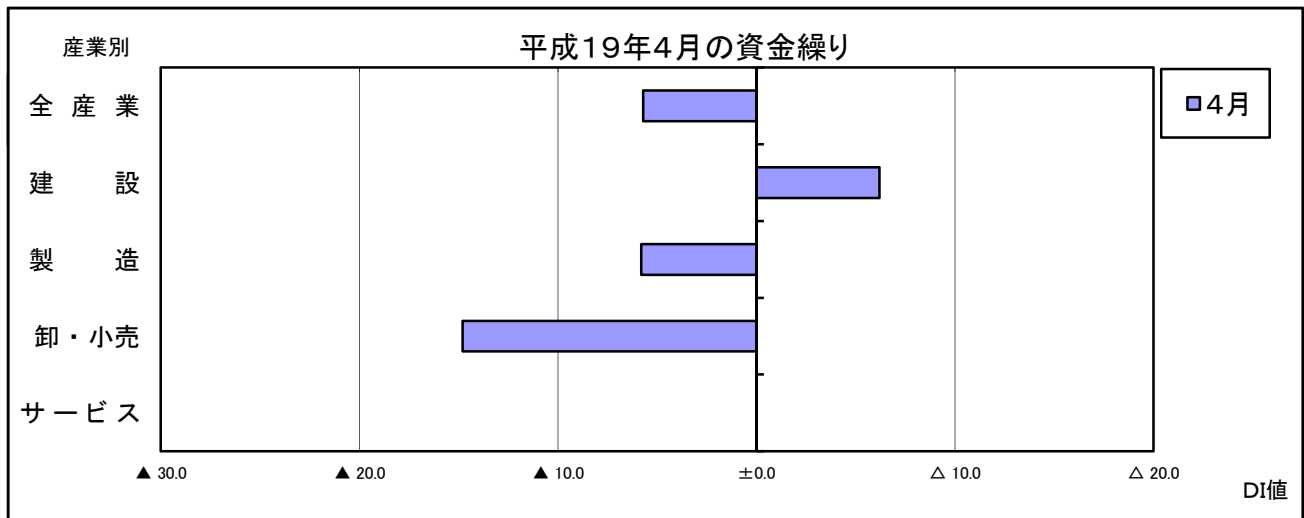
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、建設業△6.2(同▲7.6)である。変らない業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業▲5.8(同▲11.7)、卸小売業▲14.8(同▲20.6)である。

○ 向こう3ヶ月(5月から7月)の先行き見通しについては、全産業では、▲7.1(前月水準▲7.1)となり、変わらない見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小する見通しの業種は、サービス業±0.0(同△9.0)である。変らない見通しの業種は、建設業±0.0(同±0.0)、製造業▲5.8(同▲5.8)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲14.8(同▲17.2)である。

平成19年4月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成18年 11月	12月	平成19年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5月~7月(4月~6月)
全産業	▲ 5.4	▲ 6.6	△ 1.3	▲ 5.7	▲ 12.8	▲ 5.7	▲ 7.1 (▲ 7.1)
建設	▲ 13.3	▲ 6.2	±0.0	△ 13.3	▲ 7.6	△ 6.2	±0.0 (±0.0)
製造	△ 5.8	±0.0	△ 11.1	±0.0	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 5.8 (▲ 5.8)
卸・小売	▲ 10.3	▲ 10.3	±0.0	▲ 15.3	▲ 20.6	▲ 14.8	▲ 14.8 (▲ 17.2)
サービス	±0.0	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 18.1	±0.0	±0.0	±0.0 (△ 9.0)



【平成19年4月の業種別業界内トピックス】

産業別	概況	キーワード	業種
建設	官庁関係が動いてきているが、仕入単価が上昇しており、受注に結びつけるための知恵が必要。新規事業の開拓を推進して生き残ることが大事。仕入単価の交渉に全社あげて取り組んでいく。	・公共工事 ・仕入上昇 ・新規開拓	一般土木建築工事業
	新年度発注物件(官公庁)が出始めたが、単価が厳しい。	・公共工事 ・単価安	一般土木建築工事業
	公共工事の新年度ものが少なく、受注できない状況。	・公共工事	一般土木建築工事業
	仕事の方は忙しいが、純利益が少なくなかなか大変な時期。	・利益減少 ・繁忙	その他の職別工事業
	依然として過当競争が続き、憂慮すべき事態に陥っています。建設業界が正常の状態を取り戻すことが出来るのはいつなのか。遅くなればなるほど立ち直ることが不可能になるように思われる。最悪の状態は過ぎているが、この先過当競争が続けば、ローカルの建設業者は半減すると思われ	・過当競争	電気工事業
製造	業界全体では103%で着地した見込み。	・飲料水業界好調 ・売上増加	清涼飲料製造業
	受注は増えているが、原材料の上昇などにより利益に結びつかない。	・受注増加 ・仕入上昇	ゴムベルト・ゴムホース・工業用ゴム製品製造業
	主力事業は好調だが、暖冬によりカイロ事業が不調。	・鉄粉事業好調 ・天候の影響 ・カイロ事業不調	その他の鉄鋼業
	ステンレス材の値上がりが急ピッチである。新規引合先には値上げを反映した価格で折衝中であるが、なかなか通らない。	・仕入上昇 ・値上げ	その他の機械・同部分品製造業
	国内に比べ、海外、特に米国・ヨーロッパが好調。	・海外向け好調	電子部品・デバイス製造業
卸・小売	天候が不安定な事もあって業績は今一です。市内、郊外を含めた大型店を回っても同じような感じがします。ようは食品関係が余り売れていません。飲食店関係も一部のチェーン店やファミレスを除いて余り良くはないようです。この様な理由で今月は業績は悪化傾向にあったと思います。	・天候の影響 ・食品不調 ・飲食店不調 ・業況悪化	食料・飲料卸売業
	昨年度、競合改装工事による閉店5件(月初)があったため、昨年比達成は厳しい状況。特に昨年良かった食品が厳しい。雨がからむ日が多く、雨の影響が大きい店としては厳しい状況です。	・売上減少 ・食品不調 ・天候の影響	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	今月の状況は野菜の入荷は期待する数量ではないが、増加傾向で単価は安値が多い。また、近在野菜も最近の低温で伸び悩みがあり、堅調な取引は消費動向に期待したい。果実についてはメインにいちご、メロン、スイカ他だが、品薄感から入荷減少し、単価は高値で推移すると思われる。大型店の競争も分散化しつつ、ゴールデンウィークの動向を見極め、取引していく。	・野菜入荷増単価安 ・天候の影響 ・果実入荷減単価高 ・ゴールデンウィーク	食料・飲料卸売業
	2週目までは良かったが、後半に入り、天候不順(気温の低下等)の影響もあり、客数、売上ともに低調である。また、人の確保も難しくなっている。	・天候の影響 ・客数減少 ・売上減少 ・人材不足	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)

【平成19年4月の業種別業界内トピックス】

	4月まで全体的に業績好調で仕事の引き合いがあるが、人材不足(特に有資格者)で受注を見合わせる。反面、駅前大型ショッピングセンターの関係で飲食、コンビニ等の閉店もある。郊外飲食店の売上20~30%減で家賃の値下げや、交渉中もある。	・業績好調 ・人材不足 ・おたかの森SC	その他の飲食料品小売業
	原油価格の高騰で大幅な値上げの見込(4月~)	・原油高騰 ・値上げ	ガソリンスタンド
	原油高騰のため。	・原油高騰 ・値上げ	燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)
	売上は灯油が多少増加した。暖冬ではあるが、3月中旬から寒波の戻りと元売の減産政策の影響で安価なスポット物がなくなり、後半にかけて値上がりしている。灯油の時期は終わりに近づいているものの、値上げ話を無視できず、いつまでたっても苦労から抜け出せない。	・売上増加 ・天候の影響 ・値上げ	燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)
	同業者のつぶしあいの中で、いかに生き残るか模索中。	・競争激化	書籍・文房具小売業
	陽気が安定せず、軽衣料が買い控えられている。周辺大型店の出店で、パート不足が出始めている。	・天候の影響 ・軽衣料不調 ・人材不足	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	4月度は月初より天候不順及び、ファミリー層を中心とした顧客が競合に流出した影響から、春休み期間中は売上・入店客数共に低調な出足となった。春休み明けも7・8階大型店導入によるリニューアルで営業面積が減していることから、昨年を下回る推移となった。中旬以降も天候が安定せず、苦戦が続いているが、4/25から「ゴールデンウィークHappy Festa」を開催し館内を盛り上げ、売上に繋げていく。	・天候の影響 ・店舗改装 ・売上減少 ・客数減少	各種商品小売業
	完全子会社化		農畜産物・水産物卸売業
サービス	お花見シーズンは土日のランチタイムがとて忙しかったです。飲酒の取り締まりが厳しくなったので、お酒を頼まれるお客様が少なくなってきた気がします。	・ランチ好調 ・飲酒運転取締り	食堂・レストラン
	宿泊…長期宿泊あり。宴会…会議・展示会減少	・宿泊好調 ・宴会減少	ホテル

【平成19年4月の多い景気キーワード】

◎天候の影響

- ・ 主力事業は好調だが、暖冬によりカイロ事業が不調。 (製造業)
- ・ 天候が不安定な事もあって業績は今一です。市内、郊外を含めた大型店を回っても同じような感じがします。ようは食品関係が余り売れていません。飲食店関係も一部のチェーン店やファミレスを除いて余り良くはないようです。この様な理由で今月は業績は悪化傾向にあったと思います。 (卸小売業)
- ・ 昨年度、競合改装工事による閉店5件(月初)があったため、昨年比達成は厳しい状況。特に昨年良かった食品が厳しい。雨がからむ日が多く、雨の影響が大きい店としては厳しい状況です。 (卸小売業)
- ・ 今月の状況は野菜の入荷は期待する数量ではないが、増加傾向で単価は安値が多い。また、近在野菜も最近の低温で伸び悩みがあり、堅調な取引は消費動向に期待したい。果実についてはメインにいちご、メロン、スイカ他だが、品薄感から入荷減少し、単価は高値で推移すると思われる。大型店の競争も分散化しつつ、ゴールデンウィークの動向を見極め、取引していく。 (卸小売業)
- ・ 2週目までは良かったが、後半に入り、天候不順(気温の低下等)の影響もあり、客数、売上ともに低調である。また、人の確保も難しくなっている。 (卸小売業)
- ・ 売上は灯油が多少増加した。暖冬ではあるが、3月中旬から寒波の戻りと元売の減産政策の影響で安価なスポット物がなくなり、後半にかけて値上がりしている。灯油の時期は終わりに近づいているものの、値上げ話を無視できず、いつまでたっても苦労から抜け出せない。 (卸小売業)
- ・ 陽気が安定せず、軽衣料が買い控えられている。周辺大型店の出店で、パート不足が出始めている。 (卸小売業)
- ・ 4月度は月初より天候不順及び、ファミリー層を中心とした顧客が競合に流出した影響から、春休み期間中は売上・入店客数共に低調な出足となった。春休み明けも7・8階大型店導入によるリニューアルで営業面積が減していることから、昨年を下回る推移となった。中旬以降も天候が安定せず、苦戦が続いているが、4/25から「ゴールデンウィークHappy Festa」を開催し館内を盛り上げ、売上に繋げていく。 (卸小売業)

◎値上げ

- ・ ステンレス材の値上がりが急ピッチである。新規引合先には値上げを反映した価格で折衝中であるが、なかなか通らない。 (製造業)
- ・ 原油価格の高騰で大幅な値上げの見込(4月～) (卸小売業)
- ・ 原油高騰のため。 (卸小売業)
- ・ 売上は灯油が多少増加した。暖冬ではあるが、3月中旬から寒波の戻りと元売の減産政策の影響で安価なスポット物がなくなり、後半にかけて値上がりしている。灯油の時期は終わりに近づいているものの、値上げ話を無視できず、いつまでたっても苦労から抜け出せない。 (卸小売業)











平成19年4月のCCI - LOBOとの比較











- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲15.7に対し、「CCI-LOBO」が▲25.3で、マイナス幅が9.6ポイント小さい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業・サービス業。「柏の景気」の方が10ポイント以上悪い業種は、卸小売業。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲12.8に対し、「CCI-LOBO」が▲20.3で、マイナス幅が7.5ポイント小さい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業・卸小売業。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲20.0に対し、「CCI-LOBO」が▲25.6で、マイナス幅が5.6ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業・サービス業で、10ポイント以上良い業種は、建設業・サービス業。「柏の景気」の方が10ポイント以上悪い業種は、卸小売業。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲40.0に対し、「CCI-LOBO」が▲25.6で、マイナス幅が14.4ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・サービス業。「柏の景気」の方が10ポイント以上悪い業種は、建設業・卸小売業。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△15.7に対し、「CCI-LOBO」が△0.6で、プラス幅が15.1ポイント大きい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業・サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲5.7に対し、「CCI-LOBO」が▲18.3で、マイナス幅が12.6ポイント小さい。「柏の景気」の方が全ての業種で良くなっており、10ポイント以上良い業種は、建設業・サービス業。











平成19年4月の柏の景気天気図










柏の景気情報と全国CCI LOBOとの比較










景気天気図					
	特に好調 DI > 50	好調 50 > DI > 25	まあまあ 25 > DI > 0	不振 0 > DI > -25	極めて不振 DI < -25











業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 15.7	 6.2	 5.8	 33.3	 ±0.0
CCI LOBO	 25.3	 36.8	 20.6	 19.8	 23.9


売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 12.8	 18.7	 11.7	 25.9	 30.0
CCI LOBO	 20.3	 34.8	 9.3	 18.5	 18.1


採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 20.0	 31.2	 17.6	 33.3	 30.0
CCI LOBO	 25.6	 41.2	 24.1	 19.6	 21.2

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 40.0	 68.7	 41.1	 33.3	 10.0
CCI LOBO	 25.6	 39.9	 41.5	 9.4	 18.0

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 15.7	 12.5	 11.7	 7.4	 50.0
CCI LOBO	 0.6	 14.1	 0.2	 10.1	 1.4

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 5.7	 6.2	 5.8	 14.8	 ±0.0
CCI LOBO	 18.3	 27.5	 13.2	 16.0	 19.4

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測(4月速報)

調査期間：平成19年4月16日～20日
 調査対象：全国の407商工会議所が2581業種組合等にヒアリング調査を実施。

全国の業況

業況DIは三カ月連続改善も、原材料価格等の上昇金利引上げの影響あり

四月の景況をみると、全産業合計の業況DI(前年同月比)は、以下同じ)は、前月水準(一六・〇)よりマイナ幅が〇・七ポイント縮小して二五・三となり、三カ月連続でマイナ幅が縮小した。

【建設業】では、「一旦落ち着いた銅価格が再び高騰している」「電気工事」「材料費が再び値上がりすると聞き、懸念している」「管工事」と、仕入コストの上昇を訴える声のほか、「金利の引き上げは、民間の設備投資意欲に響いている」「建築工事」と、借入金利率上昇を指摘する声も寄せられている。

【製造業】では、「春の新モデルへの切り替えに合わせ、受注が緩やかに伸びている」「電子部品製造」「仕事量が多く多忙である」「一般産業用機械製造」との声がある一方、「今後の原材料価格の変動によっては、収益が悪化する恐れがある」「金属加工機械製造」「金融機関が設定する貸出金利が上昇し始めており、今後、企業間格差も出てくるのではない」「(ブリキ缶等製造)」と、仕入コストや借入金利率上昇への懸念を訴える声も寄せられている。

卸売業

【卸売業】では、「国内需要は伸びてきている」「建築材料卸売」との声がある一方、「業績が少しも向上しない」「農産物水産物卸売」「食品関係の売上が伸びない。業績は悪化傾向にある」「各種商品卸売」「売上は前年よりも若干減少した。変動幅は少ないものの、向こう三カ月の先行きに不安が残る」との声も寄せられている。

小売業

【小売業】では、「春物商品の動きがよく、業況は少しずつ改善している」「商店街」「ファッション」を対象とした春物衣料品が好調だった。「百貨店」との声がある一方で、「天候不順の影響が、衣料品を中心とした季節物商品の売上が伸びず、在庫過多となっている」「商店街」「景気回復との報道がなされているが、小売業では未だ景気回復を感じられない」「(その他の小売)」との声も寄せられている。

サービス業

【サービス業】では、「景気回復基調の持続を反映し、荷動きは回復傾向にある」「(運送業)」との声がある一方で、「従業員の報酬を減額するまでに落ち込んでおり、景気回復を望んでいる」「(旅館)」との声のほか、「借入金利率の上昇分を価格に転嫁することができないため、業況が悪化する恐れがある」「(旅館)」との声も寄せられている。

四月のキーワード

景況一進一退

ヒアリング先からは、「業況は、総じて順調に推移している。安定した引き合いがあり、先行きも明るい見通し」「(新居浜・一般産業用機械製造)」「衣料品や住居関連商品の売上が徐々に回復している」「(大川・その他の小売)」とのコメントが寄せられている。一方、「公共工事の減少が続いており、建設業界では厳しい状況が続いている」「(甲府・一般工事)」「突発的な受注はあるものの、安定した受注は未だに乏しく、確保に苦慮している」「(熊本・その他製造)」「衣料品の売上が伸びず、経営状態はよくない。先行き見通しも厳しい」「(帯広・商店街)」「景気回復はまったく感じられない。不況と言っても過言ではない。地域間格差が非常に大きい」「(理容・会津喜多方)といったコメントも寄せられている。

仕入コスト上昇

また、原材料価格の高騰による仕入コストの上昇を訴える声も寄せられている。建設製造からは、「落ち着いていた銅価格が再び高騰している。見積書の提出には最新の注意が必要」「(新発田・電気工事)」「材料費の値上がりが続いており、いつ上げ止まるか見通しがつかない」「(函館・一般産業用機械製造)」「アルミニウム真鍮の価格

が上昇している」「(さいたま・金属加工機械製造)」「自動車関連を中心とする受注量は順調だが、受注先からのコストダウン要請と、一部の原材料不足による価格の上昇が止まらない」「(高崎・自動車・付属品製造)」との声も寄せられている。また、「サービスからは、「軽油価格が上昇傾向にあり、採算を悪化させている」「(石岡・その他サービス)」といったコメントも寄せられている。

日銀利上げ後の影響

一方、日銀利上げ後の企業経営個人消費への影響に関する声も聞かれている。建設、製造からは、「金利が上昇し、資金調達に支障がある」「(唐津・建築工事)」「地元銀行が貸出金利引き上げの意向を示している」「(函館・一般産業用機械製造)」との声も寄せられている。また、「小売、サービスからは、「借入金利率の上昇により、今後採算が悪化する恐れがある」「(渋川・商店街)」「若干ではあるが、支払利息が上昇傾向にある」「(四日市・百貨店)」「住宅ローン金利の引き上げ等による消費者の心理的な消費控えが懸念される」「(柏崎・すし店)」といったコメントも寄せられている。

全国・産業別業況DIの推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
11月	24.5	39.6	11.3	36.6	22.8	25.7
12月	25.2	34.4	15.2	31.3	25.6	27.0
1月	28.0	40.4	18.1	31.9	28.7	28.1
2月	27.8	41.5	14.3	35.8	30.0	27.2
3月	26.0	42.8	14.5	37.7	25.4	23.7
4月	25.3	36.8	20.6	38.2	19.8	23.9
見通し	20.9	37.5	19.3	26.3	14.2	17.4

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI